



山口市【山口県】 歴史文化基本構想

■策定年度：令和元年度 ■人口：193,683人 ■市域面積：1,023km²
■担当課：山口市教育委員会事務局文化財保護課（令和2年3月現在）



山口市は市域の面積が県内最大で、歴史的に2つの国、3つの郡に、地形的に3つの水系に属することから、市内には多彩な歴史文化資源が存在する。そのため、本市の歴史文化の特徴を「全体的(全市的)な特徴」、「時代ごとの特徴」という2つの視点で捉え、「多彩な山口の宝を知り、守り、未来へ伝える」の基本理念のもと、歴史文化資源を未来へ伝えるための取り組みを定めた。

5 歴史文化を表す つのキーワード

多彩な歴史文化資源、重源、大内氏、
毛利氏、維新策源地

課題

- ・歴史文化資源の把握
- ・歴史文化資源に接する環境づくり
- ・歴史文化についての情報発信
- ・価値を発信する人材や団体の不足

保存活用方針

- ・歴史文化資源の把握と価値の共有
- ・歴史文化資源の保存とまちづくりへの活用
- ・保存・活用を支える仕組みづくり

📶 保存活用のための取り組み

歴史文化資源の把握と 価値の共有

- ・文化財把握調査等を継続的に実施するとともに、専門的な調査を実施する。
- ・調査・研究成果の公開、市民へ向けた情報発信の充実を図る。
- ・学校教育における学習機会の充実に努める。



歴史文化資源の保存と まちづくりへの活用

- ・指定文化財の適切な修理、史跡等の活用に向けた適切な整備を推進する。
- ・関係者の防災防犯意識を高め、危機管理を推進する。
- ・歴史文化を生かしたまちづくりに資するため、地域の魅力向上に向けた取り組みを進める。

歴史文化資源の保存・活用を 支える仕組みづくり

- ・歴史文化資源の保存・活用に関わる担い手・団体の育成・支援に努める。
- ・保存・活用を支援する仕組みづくりや保存・活用の支援者等のネットワークづくりについて検討する。

歴史文化資源の保存・活用 に向けた推進体制の充実・強化

- ・市民や地域との協働による歴史文化資源の保存・活用に向けた体制の構築
- ・情報の管理と発信の体制づくり
- ・庁内関係部局との連携の充実・強化
- ・関係機関や自治体との連携



関連文化財群



山口市の歴史文化の特徴や価値を分かりやすく、魅力的に発信するために、歴史文化の全体的な特徴及び時代的な特徴をもとに12の関連文化財群を設定した。今回設定した関連文化財群は、モデルとしての性格を有し、今後の具体的な取り組みを先導する役割を担うことを意図するもの。

ストーリー

- ① 多彩な地質・地形と造形美
 - ② 重源による東大寺再建の足跡
 - ③ 今に息づく大内氏の歴史文化
 - ④ 毛利氏による開作のあゆみ
 - ⑤ 維新策源地・山口
 - ⑥ 県都山口
 - ⑦ 陸・川・海の道と交流の遺産
 - ⑧ 山口の黎明期における先人の暮らし
 - ⑨ 古代山陽道沿線に展開した工業地帯
 - ⑩ 地域資源を生かした産業
- 他に「自然と向かい合った人々の努力の足跡」、「安穏な生活への願いと祈り」

策定後の成果（見込まれる効果）

① **社会的気運の高まり**
 構想策定に伴い市内全域を対象とした文化財把握調査を実施した。調査は、各地域の住民の協力のもと実施し、地元目線での歴史文化資源の洗い出しを行った。今後も引き続き、市民に向けて歴史文化の情報発信を行うことで、市民や地域が地元の歴史文化資源を保存・継承する気運が高まることが期待される。



② **地域との連携・協力の推進**
 地域住民の協力のもと文化財把握調査を行ったことや、地域の代表、商工・観光関係団体の代表の参画を得て構想を策定したことは、様々な関係者とのつながりをもつきっかけとなった。今後もこれら関係者と連携・協力することにより、様々な主体による歴史文化を生かした取り組みを展開する。



③ **地域の魅力の増進**
 本市の歴史文化の魅力を分かりやすく伝えるために関連文化財群を設定した。今後はこれらを活用した取り組みを行うことで、地域の魅力増進を図る。これにより、市民にとっては、地元の歴史文化への誇りや愛着の醸成に、市外に対しては交流人口の増加につなげる。

